

## ごあいさつ

江別市文化協会 理事長 藤田 昌之

光彩第二十三号の発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年は会員皆様のご支援、ご協力をいただき市民文化祭をはじめ諸事業が無事終了することが出来深く感謝申し上げます。

今年も新年早々石川県の能登半島地震、羽田空港の航空機の衝突事故と暗いニュースがありました。亡くなられた方へのご冥福と被災地の一刻も早い復興、復旧を願っております。

江別市文化協会は今年で創立五十九年になりますが、地域文化の振興発展に大きな役割を果たされたことは、先輩たち

が絆を深め今日まで歩んできたもので、文化と歴史は人と人を結びつけるものがあります。

不安定な社会情勢の中でも文化、芸術は心豊かにする最も大切なことであると思えます。

令和六年度は石狩管内郷土芸術祭の舞台部門が九年ぶりに江別市で開催されることになり、多くの市民に感動を与える芸術祭を期待しているところです。

結びになります。今年も皆様のご健勝にて活躍されますこと、各団体の発展と飛躍を願ひましてご挨拶いたします。

**あなたも何か始めてみませんか**

光彩は、江別市文化協会の広報誌です。年一回発行し、この一年間の文化協会加盟団体会員の活動を紹介します。

.....

約1,600名の会員が様々なジャンルの文化活動に取り組んでいます。ここに掲載されている記事をご覧ください。ここに掲載されている記事をご覧ください。ここに掲載されている記事をご覧ください。

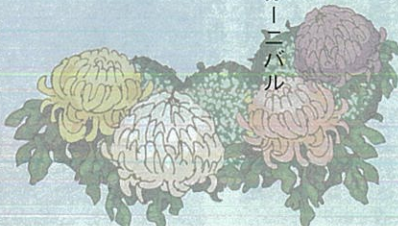
.....

お問い合わせは、各部門の問い合わせ先か、文化協会事務局へ

令和5年度 (2023年度)

## 江別市文化協会・加盟団体の主な行事

- 23/4月
  - 江別子ども劇場「Shadow Kingdom」の王国
  - 北海道大正琴普及会「30周年記念発表会」
- 5月
  - 定期総会
  - えべつ合唱の輪
  - 江別手打ちそば愛好会「全道協そば道楽地区予選会」
  - 混声合唱団「樹」第3回演奏会
- 6月
  - 江別書人集団第25回記念「江別書人展」
  - 江別子ども劇場「第45回江別こどもまつり」
- 7月
  - 第43回石狩管内文芸交流大会
  - 江別子ども劇場「夢じゃなかった大冒険！」
  - 北海道古美術協会「第19回野幌古民具・骨董市」
- 8月
  - 文芸三部門交流大会
  - 劇団ドラマシアターども「公演立冬のころ」
- 9月
  - 江別子ども劇場「チカパンのいっしょにパント「ME!」
  - 江別混声合唱団「第15回演奏会」
- 10月
  - 市民文化祭開会式
  - 市民合唱祭
  - 大正琴フェスティバル
  - 野幌太々神楽伝承発表会
  - 市民器楽祭
- 11月
  - 邦楽・邦舞大会
  - 江別deブチ演劇フェスティバル
  - 市民美術展
  - 短歌大会
  - 川柳大会
  - 俳句大会
  - 文京台一輪車クラブ「北海道ユニサイクルステージin江別」
  - 北海道中央岳風会「江別支部創立60周年記念吟道大会」
  - MOA美術館「第33回江別児童作品展」
- 12月
  - 洋舞フェスティバル
  - 詩吟・剣詩舞大会
  - 民謡熱唱大会
  - こども文化祭
  - エイベッツバンドカーニバル
  - 市民菊花展
  - 市民華道展
  - 市民書道展
  - 市民陶芸展
  - 市民盆栽展
  - 一般展示
  - 将棋大会
  - 茶会
  - ベーネアンサンブル「創立15周年記念コンサート」
  - 第50回石狩管内郷土芸術祭「開会式」「舞台部門」「展示部門」
- 24/1月
  - 江別市民会館50周年記念事業
  - 酪農学園大学吹奏楽団「第43回定期演奏会」
  - 江別市文化協会新春の集い
- 3月
  - 江別市文化協会新春の集い
  - どさんこ青少年オーケストラ協会「第9回北海道少年少女オーケストラフェスティバルin江別」
  - 劇団ドラマシアターども「公演立冬のころ」





# 第七十回 江別市民文化祭開会式 次第

■ とき 令和五年十月七日(土)  
■ ところ えぽあホール (江別市民文化ホール)

主催 / NPO法人江別市文化協会 共催 / 江別市教育委員会

## ● 式典

- 一、開 会 (司会) 江別市文化協会専務理事 石田 武史
- 二、挨拶 江別市文化協会理事長 藤 田 昌之  
江別市教育委員会教育長 黒 川 淳 司
- 三、来賓ご紹介 江別市市民芸術文化功労賞  
林 小室 修次様  
小笠原 國弘様  
佐藤 富美子様  
竹 田 圭子様
- 四、表 彰 江別市市民芸術文化功労賞  
後藤 好人様  
島 田 泰美様  
林 正様  
加藤 高様
- 五、来賓祝辞 江別市長 北海道中国武術倶楽部様
- 六、代表者謝辞 江別市議会議長 江別短歌会
- 七、閉会のことば 江別市文化協会副理事長

## ● 講演会

講師 江別市セラミックアートセンター館長 兼 平 一 志様  
演 題 「第七十回 江別市民文化祭の開会によせて  
〜光り輝き彩り豊かな芸術文化が永続することを願って〜」

● 展 示 華道展、文芸作品展(短歌、川柳、俳句)

## 令和五年度 江別市民芸術文化賞等受賞者

### 江別市民芸術文化功労賞



林 正  
江別短歌会

【推薦者】 江別短歌会 会長 二川原 登  
【略歴・功績】 一九九九年に短歌サークル「短歌研究

会」に入会し、その後代表を務め、サークル活動を積極的に推進。また江別短歌会の副会長(二〇〇七年〜二〇一六年)、会長(二〇一七年〜二〇二二年)として先頭に立ち、江別の短歌活動に貢献。さらに社会福祉施設「恵明園」への温かい訪問指導は、毎回楽しみとされている。こうした永年の文化活動に鑑み、推薦するものである。



小室 修次  
日本将棋連盟 江別支部副支部長

【推薦者】 日本将棋連盟江別支部長・江別市文化協会理事長 藤田 昌之  
【略歴・功績】 二〇〇三年(平成十五年)に当支部に入

会されて以来、幹事、例大会運営委員、指導普及委員長、副支部長と多年にわたり当会員の育成指導にあたるなど、地域文化の振興発展に多大な貢献がある。  
全道職域対抗戦等多数の大会で入会時から現在まで好成績を収めており、大会運営や小中学生の指導も熱心に行い、当支部における功績は誠に大きいものである。

### 江別市民芸術文化奨励賞



小笠原 國弘  
江別市野幌太々神楽伝承会

【推薦者】 江別市野幌太々神楽伝承会  
【略歴・功績】 会長 直井 孝一

二〇一八年まで文化協会「団体等」委員となり、会独自で行っていた発表会を市民文化祭として行うよう働きかけた。同時期庶務と時には会計も兼任し、発表会ごとに他の地域の様々な文化団体を賛助出演として招く交渉を毎年行った。  
様々な方法で後進を育てる体制づくりを行い、会の活動の幅を広げて、江別市の無形文化財である野幌太々神楽の活動を20年間支え続けてきた。

習得、後進の指導にあたっている。また二〇〇三年より当会に所属し楽の笛を